



ふれあいの森
「青空と芝生が広がる 町民憩いの公園」

広々とした芝生広場をはじめ、デイキャンプ場やパターゴルフ、水遊び場など家族がそろう楽しめる設備が充実した公園。園内のホタル養殖場では、1年を通してホタルの生態を観察できます。また、気軽に誰でも野菜作りを楽しんでいただけるよう、ふれあいの森に隣接した農地を貸農園「元気な家族農園(有料)」として整備しています。



青空図書館(ブックガーデン)
緑豊かな「ふれあいの森」で行われる出張図書館イベント。パラソル付きの移動式ブックトラックが並び、本の貸出しや広々とした芝生広場での絵本の読み聞かせなど、たくさんの親子でにぎわいます。青空の下、大人も子どもも、のんびりと時間を忘れて楽しみましょう。



四季折々の彩り
いつも暮らしのそばにある
身近な自然

Seasonal colours - nature close at hand



白沢ホタルの里
「ホタルの乱舞は圧巻」

白沢大池西側の休耕田を利用したホタルの養殖場。毎年6月下旬から7月上旬にかけてヘイケボタルが飛びかう様子を見ることができ、町屈指のホタル観賞スポットとして有名です。(左写真:ホタルの幼虫を放流の様子)



Feature

ご存じですか?アグビーは「ヘイケボタル」だってこと

町内で見られるホタルは“ヘイケボタル”です。主に水の流れが少ない水田や池沼などに生息し、6月中旬から7月中旬に見ることができます。ヘイケボタルに並び日本で最も代表的なゲンジボタルとの違いをみてみましょう。

	ゲンジボタル	ヘイケボタル
主な生息地	きれいな水が流れる川辺など	水の流れが少ない水田や池沼など
見られる時期	5~7月	6~7月
体長の比較	大きい(オス15mm/メス17mm)	小さい(オス9mm/メス11mm)
飛び方	曲線的	直線的
発行度合いの比較	強い	不規則で弱い

「最近では、環境の変化などでホタルの数が減ってきています。これからもホタル飛び交う、豊かな自然を守りましょう」

板山高根湿地
「阿久比町東部に位置する
知多半島有数の湿地」 ※限定公開

知多半島でも有数の自然環境が残り、“シラタマホシクサ”(8月~10月。別名コンペイトウグサ)などの湿地性植物や体長2cm(小指の先)ほどで日本最小の“ハッチョウトンボ”(6月~8月)など、周辺には多種の昆虫や鳥が生息しています。



Feature

名作童話「ごんぎつね」
ゆかりの“ごんげん山”

阿久比町植大に「権現山(ごんげん山)」と呼ばれる山(神社の五郷社(古くは権現社)の鎮守の森)があります。国語の教科書にも載っている新美南吉の名作童話「ごんぎつね」は、この“ごんげん山”に住むキツネから名前をとったといわれています。ごんげん山付近では今でもキツネの目撃情報もあるため、現代の「ごんぎつね」に会えるかもしれません。



矢勝川の彼岸花
「童話のふる里」と
「地域ボランティアによる
環境保全のシンボル」

秋の彼岸の頃になると、矢勝川の堤防に彼岸花が咲き誇り、幻想的な光景が広がります。ふる里づくりの一環として、地域のボランティアを中心に彼岸花の球根の植栽が続けられ、景観維持に貢献しています。



阿久比町は、知多半島の中央部に位置し、四季折々の変化を身近に感じられる豊かな自然に恵まれたまちです。中央には阿久比川が流れ、それを囲む丘陵地には里山や水田が広がっています。大きく広がった青空と田んぼ。草花が揺れる阿久比川。まちに溶け込むようにモコモコとした里山。竹林でタケノコ掘りやお花畑でかけっこも。都会では遠くに行かないと味わえない身近な自然が、いつも暮らしのすぐそばにあります。

Agui is located in the heart of the Chita Peninsula and is blessed with a rich natural environment that allows one to experience the changing seasons up close. The River Agui flows through the centre of the town, and the hills surrounding it are dotted with village forests and rice paddies. You can enjoy bamboo shoot hunting or frolicking in fields of flowers. Nature is readily accessible, unlike in the city.

